

「ふるさと回帰『絆』強化事業」における アンケート調査結果について

令和2年6月議会でお認めいただいた補正予算において、「新型コロナウイルス」の感染拡大に伴い、厳しい状況に置かれている「本県出身で県外在住の学生等」を応援するため、本県の特産品等をお送りする事業を展開し、併せてアンケート調査を実施しました。本年2月15日時点で、「4,725名」の回答があり、主なアンケート結果は次のとおりです。

1 事業の状況等

申込み受付期間：令和2年7月31日（金）～令和3年2月28日（日）

回答（申込）者数：4,725人

2 主なアンケート結果とその分析

(1)若者の日頃の情報収集手段

①Instagram：2,102人(44.5%) ②Twitter：1,898人(40.2%) ③ホームページ：1,643人(34.8%)

分析：匿名性を理由とした「情報の発信や収集の手軽さ」により、若者に対しては、facebook(114人(2.4%))：8項目中最小よりも、「Instagram」が有効な手段

(2)居住地域別「回答者数」及び「本県就職希望者の割合」

【地域別「回答者内訳」】

①関西圏：2,020人 ②関東圏：756人 ③中国圏：713人

【地域別「本県就職希望者の割合」】 全体：52.0%

①四国圏：64.0% ②中国圏：60.9% ③関西圏：53.7%

分析：「関西圏」において、本県の事業に対する関心が高いことが確認されるとともに、近隣地域ほど本県就職希望者の割合が高くなる傾向
(参考：関東圏：33.9%)

(3)新型コロナによる影響(自由記載)

【最多意見】：就職活動への不安、影響に関すること（495人）

(例) ・コロナの影響で就職活動のための帰省ができず、困っている
・就職に関する企業情報の収集が難航 など

3 今後の方針(案)

今回のアンケート集計結果を各部局間で共有し、

- ・「Instagram」を積極的に活用した若者向け情報発信の強化(#徳島)
- ・個別大学へのアプローチなど、「関西圏」における「とくしま回帰」のより一層の加速化
- ・就職活動に係る「相談体制の充実」や「効果的な情報発信」の積極的な展開

など、アンケート集計結果の活用を図るとともに、若者への情報発信や貴重な個人情報を情報収集のツールとして、効果的に活用して参りたい。